



発行責任者 増永正始
 編集責任者 中野 勲
 大阪市福島区大開1-19-40
 TEL 06-6462-6762
 平成16年3月号
 (創刊号)

福島区「大開町と松下幸之助に関する事業」委員会

大開町と松下幸之助に関する事業 平成十六年度「活動計画」

「あいらじ」

増永会長

昨年三月に福島区「大開町と松下幸之助に関する事業」委員会を発足して、一年になります。多くの皆様のご協力を得て活動を進めてまいりましたが、この度、一年間の区切りとして総会を開催することになりました。

「活動計画」

一年を四季にわけて、各季節に夫々一行事以上を行ないます。

会の活動は大きく分けて三つの柱で進めております。「町おこし事業部会」は大開が松下幸之助創業の地であることを広くPRするため取り組みを進めていますし、「松下幸之助研究部会」は月一回の勉強会を続けています。

また「記念碑建立準備部会」もその建設に向かつて着々と準備を進めており、会の活動は着実に発展しています。

今年には松下幸之助生誕百十年にあたることでもあり、一層の発展を期して取り組んでまいります。

町おこし事業部会
中野副会長
「活動方針」



第1回総会「発足式」

松下幸之助創業の地大開を更に広く世間に知らしめ、且つ地域活性化の一助になることを勧奨します。

秋は区民まつり、又は西野田工業高校の文化祭等に研究発表やフリーマーケットの出店をします。冬は大開公園もしくは商店街で餅つき大会を行ない餅の配布は無料とし、餅と本委員会の事業内容を同封したパンフレット等も同時配布します。

人物・業績を語る会「聞く会」を開催して、大開に今も語り続けられているエピソードや警咳に接せられた方に伝わる話を記録することも、部会の仕事としたい。

「活動計画」
松下創業当時の工場跡地の確認、松下と交流のあった人びと、支援者特に十一人のメンバーの追跡、松下が畏敬した山本武信、技術面で活躍した中尾哲二郎、松下の人生の師・加藤大観との出会いを調査、研究し、当時の社会背景と松下を育てた大開町の実態把握が本年の懸案です。

その他にジャスコ一階のイベント広場を活用したパネル展も考慮の余地があります。春、夏のイベントと秋の区民まつりに関しては、昨年度以来の活動で、西工文化祭、冬の行事に関しては今回提案します。

以上の活動計画は予定として、今後町おこし事業部会、本会役員会等で検討を重ねることで鋭意進行中です。

春は毎年四月二十九日の「リサイクル環境フェア」フリーマーケットへ出店します。夏は毎年の野田阪神本通商店街の「納涼まつり」(七月又は八月)に「松下翁と大開」の研究発表の場として、ブースを開設します。

松下幸之助研究部会
井形副会長
「活動方針」

松下幸之助の自伝を読む(輪読)会を本年も続行します。他面、松下の

「活動計画」
記念碑建立準備部会
山本副会長
事業目的の町おこしをえるシンボルとなる記念碑を可及的速やかに建立します。

「活動計画」
制作者 伊達 綾
西野田工業高校
デザイナー科今春卒
「大開町おこしマーク」



お買物に...ご飲食に...
レジャーに...
ふれあいの街。お楽しみいただける街
野田阪神駅前通商店会
会長 中岡 功平

使って便利!! 贈って喜ばれる!!
キッチン&インテリア
Woodyhouse
フナモト
野田阪神本通商店街中央 TEL6460-2081

テ イ オ
TIO
NODA HAN
野田阪神本通商店会
http://www.LC-info.co.jp/arcade/hondori.html

平成十五年度活動報告

大開連合町会では、松下幸之助さんで「町おこし」をと、昨年の三月八日に福島区「大開町と松下幸之助に関する事業」を立ち上げたことは皆様もご承知の通りです。あれから一年、大開では地味ながら数多くの活動を展開し、マスコミにもしばしば取り上げられ、各方面から注目を浴びるようになりました。この度、二回目の総会を開催するにあたり、約一年にわたる活動を以下の通り総括しました。

「町おこし事業部会」では、「町おこし事業部会」をはじめ、「松下幸之助研究部会」それに「記念碑建立準備部会」の三部会を設置し、それぞれ積極的な活動を展開してきました。

「町おこし事業部会」

町おこし事業部会では、商店街へ阿波踊りを呼んで賑わった夏祭りや福島区民祭りに、松下幸之助パネル展を開催し、大開が松下幸之助創業の地であることを繰り返しPRし、町おこしを支える基礎固めをしてきました。

四月二十九日の「緑の日」には、福島区役所向かいの旧ジャスコ空き地においてのリサイクルフェアに参加出店して、松下幸之助さんのパネルを貼り幾ばくかの収益をあげました。また十月十一日、十

二日西難波において大阪第七回目を迎えます。読む会はPHP友の会・市野俊哉氏の指導で輪読会方式で行われています。参加者はやる気満々、意見続出、新しい情報が毎回寄せられて楽しい。

その他、昨年末には本通商店街の一角で、府立西野田工業高校電気科の学生さんが、第二回「夢と光のフアンタジー」を実施してくれました。これは音楽に合わせて西野田工業高校の校章を中心に画いた綺麗なイルミネーションが点滅する光と音のページェントで、寒空の中、多くの観客を魅了しました。この開催も支援し地元で密着した活動を展開しました。

「松下幸之助研究部会」井形副会長
部会活動の手はじめとして毎月一回、第三土曜日の夜に、松下幸之助創業時代の自伝を読む会を行っています。九月二十日にスタートし、三月で

本会発足を記念して「大開と松下幸之助展」を四月～六月末まで、福島図書館で開催。会期末には松下幸之助の孫さんで松本下電器副会長・松下正幸氏も訪れ「私の本籍地も大開町ですよ」と感慨深げに参観されました。展示と併行して、六月十四日に区民センター大ホールで講演会開催。HP研究所谷口全平講師の「松下幸之助に学ぶ運を開く発想」の講演は三百名の聴衆に多大の感銘を与えました。

「記念碑建立準備部会」山本副会長
記念碑建立準備部会では、かつて第二本店・工場にあった大開公園内に

記念碑を建立すべく、これまで延べ五回の部会を重ね記念碑の基本案を検討してきました。

また、最終案を決定するには至っていませんが、記念碑を覆うように福島区の花「野田藤」を植樹することも立案されました。こうした基本案を元に福島区役所を通じて、大阪市に記念碑建立のお願いをしています。

特筆すべきは、一年間にわたる三部会の活動により、埋もれていた貴重な品々や数々の逸話を掘り起こすことにも成功し、その成果は決して少なくはありません。これ以外にも、事業委員会では口ゴやシンボルマーク

「編集後記」
会報の題字に採用しました松下幸之助さんの書「道」には、以下の文章が併記されています。

自分には
自分に与えられた道がある。広い時もある。せまい時もある。のぼりもあれば、くだりもある。思索にあまる時もある。心と定め、希望をもつて歩むならば、必ず道はひらけてくる。深い喜びもそこから生まれてくる。

その他、のぼりや垂れ幕なども製作し着々と町おこしの体制を整備しつつあります。以上

平成15年度収支報告書

収入の部		支出の部	
協力金	118口 3,296,000	事務用品費	272,172
リサイクル収益金	27,795	消耗品費	204,911
駅前商店街協力金	30,000	備品代	311,889
本通り商店街協力金	9,825	広告費	53,000
楽市売上金	31,200	賃料	15,000
普通利息	20	交通費	10,420
		通信費	7,277
		租税公課	7,000
		楽市商品代	38,482
		総会費	118,504
		振込負担金	1,575
		通帳残高	2,354,610
合計	3,394,840	合計	3,394,840

以上の通り御報告致します。 会計: 松本正治 禰定貞男

大開連合町会だより

大開校下社会福祉協議会より
小地域ネットワーク推進活動がはじまり世代間交流をしながら皆が安心して生活が出来る地域へと活動しています。皆様の参加をお待ちしています。

大開福祉センターにて実施

ふれあい喫茶

毎月第4水曜日
午前11時～午後1時
どなたでも

新舞踊の会

毎月第2,4木曜日
午後7時～午後9時
興味のある方

子育て支援

毎月第2水曜日
午前10時～午前12時
就学前の親子

『この指とまれ』平成16年度は

4月22日 10月28日
5月27日 11月25日
6月24日 12月16日
7月22日 1月27日
8月26日 2月24日
9月16日 3月24日

場所：大開公団集会所

(12号棟1階)

時間：午後1時30分～3時

費用：必要時実費(500円まで)

地域ネットワーク委員会より
大開公団集会所にて、毎月第四木曜日に高齢者の集いを行っています。参加お待ちしております。